

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

感動の連続の宿泊研修

文理科学科の生徒四十三名は七月二十三日(月)から二十五日(水)の日程で宿泊研修に行ってきました。普段の学校生活では体験することができない素晴らしい内容を学ぶことができました。

兵庫県立西はりま天文台公園

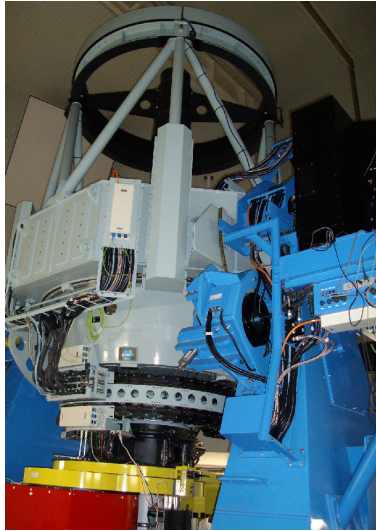
園長の黒田武彦教授から「星の一生と私たち」というテーマで講義を受けました。

およそ四百四十億年といわれている宇宙の歴史において、宇宙を漂うガスが集まって新しい星が誕生し、超新星爆発で終末期を迎える星の一生の繰り返しにおける核融合で、私たちの身体を作っている酸素や炭素などすべての原子は作られたのである。すなわち私たちの身体も宇宙の一部であるということ学びました。



高輝度光科学研究センター

放射光普及棟で研究センターの技術者の方から「放射光」発生のメカニズムや利用した研究成果についての説明を受けたあと、パスで一周一四三六メートルで世界最大の蓄積リング(六十億電子ボルトの電子を貯蔵する円形加速器)の周りを見学し、研究施設の大きさに驚きました。



望遠鏡で木星とその衛星イオ・エウロパ、球状星団 M 13、こと座の一等星ベガ(織姫星)などを観望しました。

神戸大学 大学見学)
経済学部の講義室で説明を受けたあと、六甲台キャンパスを見学しました。広いキャンパスには歴史と伝統を感じさせる建物と最先端の研究施設があり、生徒諸君にとっては感動の連続でした。学生食堂で大学生に混じって昼食を食べて大学生気分も味わうことができました。偶然にも二人の福知山高校の卒業生と出会いました。春に特別講義に来ていただいた土佐先生も激励に来てくださいました。

神戸大学 模擬講義)

理学部教授の吉川潮先生の模擬講義「細胞外からの情報はどのようにして細胞内に伝わるのか?」を受けました。講義の内容は DNA、RNA の遺伝情報やその発現の仕組みと、細胞間や細胞内の信号(シグナル)の伝達や変換の仕組みの研究に関するものでした。また、大学での研究とは未知(未解決)の問題が多く、既知と未知の境界を知ることが大切である。」と教わりました。



大阪地方裁判所
大阪地方裁判所では、刑事裁判を行う大法廷で職員の方から裁判についての説明を受けた後、実際の刑事裁判を傍聴しました。とても貴重な体験となりました。



朝日新聞大阪本社

新聞記者の編集デスクや高性能印刷機械のある地下印刷室を見学し、新聞ができるまでの行程を学ぶことができました。

記者の浅野稔氏から「**新聞学**」の特別講義を受けました。記者の仕事の厳しさや**時代の目撃者**になりたくて新聞記者になられたことをお聞きました。生徒諸君は浅野氏のジャーナリストとしての熱意を感じたことでしょう。